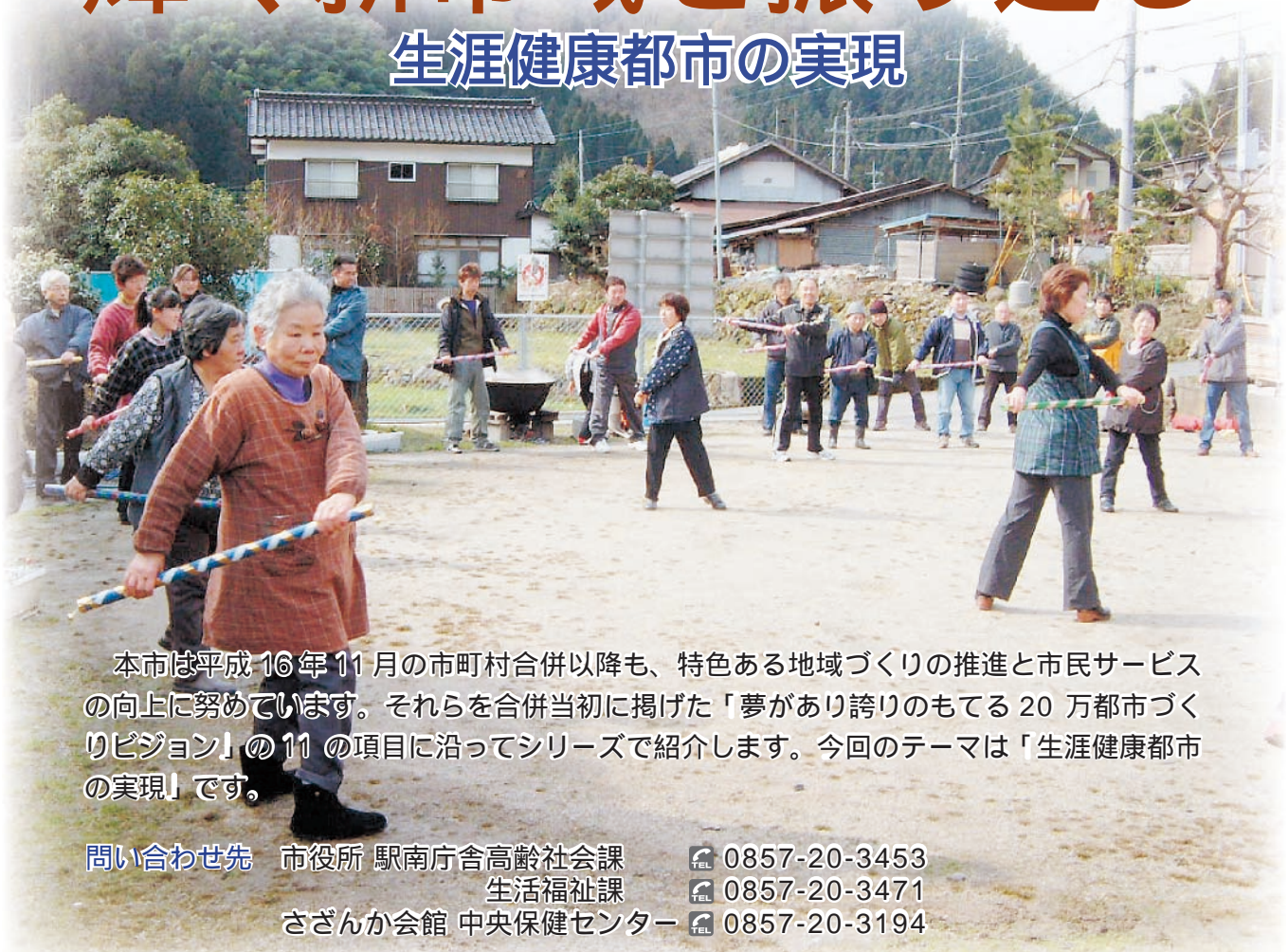


輝く新市域を振り返る

生涯健康都市の実現



本市は平成16年11月の市町村合併以降も、特色ある地域づくりの推進と市民サービスの向上に努めています。それらを合併当初に掲げた「夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン」の11の項目に沿ってシリーズで紹介します。今回のテーマは「生涯健康都市の実現」です。

問い合わせ先 市役所 駅南庁舎高齢社会課 ☎ 0857-20-3453
 生活福祉課 ☎ 0857-20-3471
 さざんか会館 中央保健センター ☎ 0857-20-3194

しゃんしゃん体操（佐治町）

夢

があり誇りのもてる
20万都市づくりビジョン

- ・ 広域交流観光の展開
- ・ 防災・防犯対策の強化
- ・ 新たな農林水産業の振興
- ・ 地域文化の振興
- ・ 人権尊重都市の実現
- ・ 人材誘致・定住対策の促進
- ・ 子育て・教育先進都市の実現
- 生涯健康都市の実現
- ・ 地域に根ざした商工業の振興
- ・ 情報先進都市の実現
- ・ 環境先進都市の実現

高齢者がいきいきと暮らせるまち

高齢化が進展し、また、核家族化によってその高齢者を取りまく環境が変化しつつある中で、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、新市域に、地域密着型の小規模多機能型居宅介護施設やグループホームを、日常生活圏域ごとにバランスよく整備してきました。

また、介護予防の観点から、運動機能の低下や閉じこもりの傾向にある高齢者を対象として、筋力向上、認知症予防、転倒骨折防止のための運動指導を行う、「おたっしや教室」や「はつらつ交流教室」も新たに開催しています。さらに、介護の必要な方や障がいのある方などの外出を支援する「福祉有償運送」も新市域で始まっています。

一方、地域で福祉活動を



おたっしゃ教室



はつらつ交流教室



福祉有償運送



避難訓練



除雪応援隊



ブックスタート事業



健康づくり地区推進員の活動



食生活改善推進員の活動

誰もが安心して暮らせる地域

今後もし引き続き、高齢者が、安心していきいきと暮らすことができるよう、取り組みを進めていきます。

集中豪雨や地震などの災害が発生したとき、高齢者や障がいのある人などは、安全な場所へ避難するのに時間がかかったり、自力で避難することができないな

ど、適切な防災行動をとることが困難です。

市民のみなさんが、安全に避難するためには、地域における協力体制を整備することが不可欠なことから、本市では、平成18年3月に「災害時要援護者支援制度」を創設。本年度末までに、地区公民館単位で62地区中、34地区において、制度の周知、普及を図り、自治会、民生児童委員協議会などが連携し、要援護者の支援体制の整備と、防災意識の向上を図りました。

特に新市域では、28地区中15地区で、積極的に取り組んでいただきました。さらに、今年1月には、積雪量が50センチを超えるよう

な大雪時に、高齢者の一人暮らし世帯などで除雪が困難な場合、地域の除雪体制が整うまでの間、市職員が除雪を行う「除雪応援隊」を結成。道路から玄関までの生活通路の確保のための除雪を行うなど、支援を必要とする人を支援してまいります。

今後も、市民のみなさんが、安全に、かつ、安心して暮らすことのできる地域づくりの推進に、より一層努めてまいります。

市民と行政が協働の健康づくり

本市では、平成18年3月に、「健康を語る会」のみなさんと共に検討を重ね、新

市の健康づくり計画「新元氣プラン」を策定しました。この計画では、「子どもが健やかに生まれ育つための子育て支援」と「生涯にわたる心身の健康の保持」を目標に、市民と行政が協働で行う健康づくりに取り組んでいます。

ブックスタート事業では、絵本を介した親と子の豊かな育ちを図るため、読み聞かせボランティア、市立図書館と連携し、6カ月健診の機会を通じ、赤ちゃんとお母さんに読み聞かせをし、絵本を2冊プレゼントしてまいります。

また、健康づくり地区推進員や食生活改善推進員の活動では、喫煙対策や運動

習慣の定着、健診受診者を増やす取り組み、食を通じた地域づくり、高齢者の健康とふれあいのある地域づくりなどを推進しています。

さらに、介護予防と地域のふれあいを目的に、鳥取大学、市立病院などの協力を得て考案した「しゃんしゃん体操」が、今年度には、全国的な「第14回チヨダ地域保健推進賞」を受賞しました。

平成23年度からは、新たに「鳥取市民元氣プラン2011」をスタートさせ、生涯健康都市の実現に向け、さらに充実した健康づくりを推進してまいります。